

## 2002年9月号 生命に忍び寄る特許

NI No.349 September 2002  
Patents on Life

< 内容 >  
(本文は英語です)

生命特許についての8つのポイント  
人生の本質とも言うべきものが売りに出されている。その手強い入札者達に対抗するための知識。

遺伝子ハンター

太平洋の小さな島、トンガの人々の遺伝子を狙う、オーストラリアのバイオテクノロジー会社オートジェン。

コメはアジアの心

アジアの米作地帯を支配しようとねらっている企業に対抗する代替案。

生命に忍び寄る特許 - その事実

自家製の治療法

南アフリカのAIDS患者達が希望を抱いている植物の未来。  
特許による征服

米国主導の特許推進。だが、昔はそうではなかった。

海賊やーい!

悪評の高い特許権の主張を検証してみよう。

バーコードライフ

遺伝学者は、生命を賭けたロシアンルーレットを行っている。  
アクション

\*その他、世界の状況を伝えるニュースや報告も掲載\*



宇宙が最後の未開拓の研究対象と考えていた人々にとって、最後に残された手付かずの研究分野は生命であると言ったら意外に感じるかもしれない。その未開地の征服者というのは、生命を必死になって手に入れようとしている「生命科学」関連多国籍企業である。

だが、天然資源、生き物、そしてまさに私達の遺伝子といったものは、企業の「所有物」となるべきなのだろうか?それとも、私達共通の財産となるべきものなのだろうか?

遺伝子組み換えの危険性と恩恵についての議論が激しくなる一方で、私達ははっきりとした見解を示す必要に迫られている。それは、この分野の研究は、生きている「製品」に対する所有を目指すものではないということだ。

NI Japan No.37 2002年9月号

生命に忍び寄る特許

< 内容 >  
(本文は日本語、一部英語です)

< 今月のメインテーマ記事 >

「生命特許についての  
8つのポイント」  
(NI本誌p9-12の翻訳)

「コメはアジアの心」  
(NI本誌p15-17の翻訳)

< Reporting from Japan >

日本企業と生命に対する特許  
特許関連データ

「資生堂、インドネシア原産のハーブと植物に関する特許を取下げ」

生命特許・遺伝子特許

市民バイオテクノロジー情報室 天笠啓祐

< Contact Points >

バイオテクノロジー、遺伝子組み換えイネ、種子保存・交換  
関連NGO情報や文献紹介等。

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール - アンゴラ」

(NI本誌p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集の  
NI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセット  
でお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

10,500円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

\* ホームページから、購読お申し込みや  
バックナンバー照会もご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/